


サステナビリティ経営のためのSDGs推進シリーズ (全35コース)

**手軽な映像教材をとおして、自らの業務とSDGsとを結び付けながら
ビジネスとして社会課題を解決するヒントを学んでいきます。**

<特色>

- SDGsに関する基本的な知識から、自分の仕事のなかでどう実現していくかまでを、映像教材で手軽に学べます。
- 企業がSDGsを推進するうえで欠かせないE・S・G（環境・社会・ガバナンス）の切り口から、SDGsの概論および専門テーマや、実際の企業の取り組み事例を学習します。
- それぞれのコースには学習成果を確認するテスト（各コース4問）と、学習資料（PDF）が付いています。





ダイナミックマテリアリティとは

- ダイナミックマテリアリティは、マテリアリティは時間の経過とともに変容することを示した考え方である。
- ダブルマテリアリティは時間の経過とともにシングルマテリアリティに、そして、その後は財務指標へと移り変わっていく可能性がある。

ダイナミックマテリアリティ


サステナビリティは時間をかけて、または急速に移り変わっていく可能性がある。

組織が経済、環境、人へ与える重大なインパクトに関する情報（ダブルマテリアリティ）

組織の価値創造のために重要となる情報（シングルマテリアリティ）

財務会計とESGに関する情報

▲「SDGsにおけるマテリアリティの発展ステップ」



飛行機を利用して移動
世界人口の約6%のみ

残りの約94%は未利用

- ・飛行場まで遠い
- ・費用がかかりすぎる
- ・身体的負担が大きい など

▲取り組み事例
「アバターを使って誰もが利用できる旅行を」

<概要>

受講対象者	●ビジネスパーソン全般
監修	●平本 督太郎 金沢工業大学 SDGs推進センター 所長 ●株式会社LODU（ロデュ）
仕様	●想定学習時間： 講義映像 各12～18分、取り組み事例 各20分程度 ●最短実行時間： 講義映像 各 6～9分、取り組み事例 各10分程度 ●テスト数：各1（全4問、ランダム出題）

サステナビリティ経営のためのSDGs推進シリーズ コースラインナップ (全35コース)

E : 環境	概論	SDGsにおけるマテリアリティの発展ステップ SDGsの後半戦の鍵となる途上国ビジネス
	気候変動対策 脱炭素、カーボンオフセット	国家レベルでのカーボンニュートラルの目標 基礎知識としての再生可能エネルギーの種類と特徴 気候変動と企業経営の関係をどう理解すべきか 脱炭素経営と企業調達・企業間取引 現状把握から始める脱炭素経営 カーボンフットプリントを活用し個人の意識・行動変容を起こす
	サーキュラエコノミー	サーキュラーエコノミーの種類と市場規模 サーキュラーエコノミーの基本となる4 Rと進化のステップ バタフライダイアグラムを用いたあるべき姿の描写 サーキュラーエコノミーと自然資本に関する情報開示 カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーのシナジー・トレードオフ サーキュラーエコノミー視点におけるビジネスモデルのアップデート
S:社会	概論	全国各地で推進される自治体によるSDGs戦略 貧困撲滅をケースとしたビジネスへの社会課題解決思考の取り込み方
	ビジネスと人権	人的資本経営における情報開示とは 攻めのD & Iと守りのD & I 技術革新によって急速に強まる企業経営と人権の結びつき 人権ビジネスへの向き合い方
	ジェンダー平等	イノベーション創出戦略としての攻めのD & I イノベーションを生み出せる企業になるために乗り越えるべき谷
	働きがい	ウェルビーイング経営とバックカスティングによる組織・個人のパーパス 健康経営から始める攻めのD & I 育児休業改革と副業・リスクリングの奨励が企業を進化させる
G : ガバナンス	概論	サステナビリティ経営の分類 社会変容のためのSDGs教育 (ESD) とこれからの人材採用 危機に強い企業を作るためのESG投資とそれに紐づくSDGs情報開示 Beyond SDGs視点による先行者利益の獲得
	腐敗防止	グローバル化によって求められる腐敗防止と求められる社会・組織の進化
	サプライチェーンマネジメント	サプライチェーンマネジメントから始める守りのD & I
SDGs推進能力		SDGs推進に必要な力、社会課題の解決を通じて身に付く力
取り組み事例		自動車リサイクルで循環型社会を実現 アバターを使って誰もが利用できる旅行を 金融を通じて地域の社会課題を解決

サステナビリティ経営のためのSDGs推進シリーズ 各コース概要 (1)

カテゴリ	コース名	コース概要
SDGs 環境	SDGsにおけるマテリアリティの発展ステップ	サステナビリティ経営に取り組む際に特定が必要となる「マテリアリティ」について、3種類に分け、その重要性やそれぞれの特徴を学習していきます。
SDGs 環境	SDGsの後半戦の鍵となる途上国ビジネス	SDGsの後半戦で重要視される途上国ビジネスの考え方や、トレードオフを乗り越えシナジーを高める視点について学習します。
SDGs 環境	国家レベルでのカーボンニュートラルの目標	人間の活動によって気候変動が進んでいる中、その対策として取り組みが加速するカーボンニュートラルについて学習します。
SDGs 環境	基礎知識としての再生可能エネルギーの種類と特徴	エネルギー対策として注目されている再生可能エネルギーについて、その種類やこれからの運用における考え方を学習します。
SDGs 環境	気候変動と企業経営の関係をどう理解すべきか	気候変動には緩和と適応の領域があることを理解し、多くのリスクが指摘されている気候変動に対して、企業としてどう取り組んでいくのかを学習します。
SDGs 環境	脱炭素経営と企業調達・企業間取引	政府主導では間に合わないとされる気候変動対策について、ESG投資との関連もふまえ、企業視点でどのように取り組むべきかを学習します。
SDGs 環境	現状把握から始める脱炭素経営	脱炭素経営を始めるための第一歩ともなる「サプライチェーン排出量」の算出について、そのメリットと手順を学習します。
SDGs 環境	カーボンフットプリントを活用し個人の意識・行動変容を起こす	CO ₂ 排出量の削減や低炭素な消費生活を促進する「カーボンフットプリント」や「ACT NOW」について学習します。
SDGs 環境	サーキュラーエコノミーの種類と市場規模	循環型経済を意味する「サーキュラーエコノミー」において、除外しなければならない「4つの無駄」について学習します。
SDGs 環境	サーキュラーエコノミーの基本となる4Rと進化のステップ	「サーキュラーエコノミー」の根本となるゴミ問題に対して、4Rの視点でどのように事業を進化させ、ゴミが出ない社会を作っていくかを学習します。
SDGs 環境	バタフライダイアグラムを用いたあるべき姿の描写	サーキュラーエコノミービジネスを行う上での3原則と、バタフライダイアグラムの活用について学習します。
SDGs 環境	サーキュラーエコノミーと自然資本に関する情報開示	自然資本に関する動向と、投資家の投資決定に影響を与えるTNFDについて理解し、自然資本を意識した経営や非財務情報開示の重要性を学びます。
SDGs 環境	カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーのシナジー・トレードオフ	シナジーとトレードオフを内包する関係性にあるサーキュラーエコノミーと脱炭素について、どのような観点で取り組むべきかを学習します。
SDGs 環境	サーキュラーエコノミー視点におけるビジネスモデルのアップデート	サーキュラーエコノミーを自分たちのビジネスに取り入れてアップデートする際に重要となる、3つのステップについて学習します。

サステナビリティ経営のためのSDGs推進シリーズ 各コース概要 (2)

カテゴリ	コース名	コース概要
SDGs 社会	全国各地で推進される自治体によるSDGs戦略	SDGs達成を目指して国が推進する「SDGs未来都市」制度と、社会の変革に向けて求められる民間連携について学習します。
SDGs 社会	貧困撲滅をケースとした ビジネスへの社会課題解決思考の取り込み方	世界で非常に重要視されている「貧困問題」について、日本における現状と、その社会課題をビジネスとして捉えるメリットや、事業化のポイントを学習します。
SDGs 社会	人的資本経営における情報開示とは	ヒトの持つ能力を最大限に引き出すことで経営改善を行っていく「人的資本経営」の重要性と情報開示の必要性について学習します。
SDGs 社会	攻めのD & Iと守りのD & I	人的資本経営の根幹となるD&I（ダイバーシティ&インクルージョン）について、日本と海外の関心領域をもとに、攻めと守りの観点から学びます。
SDGs 社会	技術革新によって急速に強まる企業経営と人権の結びつき	SDGsにおけるトレードオフ課題として生じがちな人権問題について、深刻化する現状と、技術革新による人権問題の見える化を学習します。
SDGs 社会	人権ビジネスへの向き合い方	拡大する人権の重要性をふまえて、企業が負うべき責任やESG投資における人権に関する財務リスクについて学習します。
SDGs 社会	イノベーション創出戦略としての攻めのD & I	イノベーションを生み出すD&Iの推進によって新たに発生した課題をカバーするために、D&Iの次のステップであるDEIBについて学習します。
SDGs 社会	イノベーションを生み出せる企業になるために乗り越えるべき谷	多様性を高めることにより生じる経営効率の押し下げを乗り越えるため、多様性におけるデモグラフィック型とタスク型について学習します。
SDGs 社会	ウェルビーイング経営とバックカスティングによる組織・個人のパーパス	「完全に良好な状態」であるウェルビーイングについて理解を深め、組織と個人のパーパスの融合や、バックカスティングによるアクションについて考えていきます。
SDGs 社会	健康経営から始める攻めのD & I	従業員の働きやすさに直接的に影響を与え、D&Iの促進にもつながる健康経営について、経営視点からその重要性を学びます。
SDGs 社会	育児休業改革と副業・リスクリングの奨励が企業を進化させる	既にいる人材の多様性を引き出すイントラパーソナル・ダイバーシティの実現をめざして、育児休業や副業、新たなリーダーシップの重要性を学びます。

サステナビリティ経営のためのSDGs推進シリーズ 各コース概要 (3)

カテゴリ	コース名	コース概要
SDGs ガバナンス	サステナビリティ経営の分類	「サステナビリティ経営」を大きく4つに分類して学び、価値創造・リスクマネジメント／短期的・長期的視点から考えていきます。
SDGs ガバナンス	社会変容のためのSDGs教育（ESD）とこれからの人材採用	SDGs教育（ESD）において日本は世界を牽引していることを理解し、学校教育におけるSDGsの位置づけや、人材採用におけるSDGs視点の重要性について学習します。
SDGs ガバナンス	危機に強い企業を作るためのESG投資とそれに紐づくSDGs情報開示	世界の運用資産の3分の1以上がESG投資になっている現状を理解し、今後どのような情報開示が求められるかを学習します。
SDGs ガバナンス	Beyond SDGs視点による先行者利益の獲得	ポストSDGsに向けての世界の動きを学び、先行者利益を得るにはどうしたらよいか、何に注目すればよいかを学習します。
SDGs ガバナンス	グローバル化によって求められる腐敗防止と求められる社会・組織の進化	グローバルにビジネスを展開する際に大きな課題となりやすい「汚職・腐敗」に対して、DEIBとデジタル化をもとに解決方法を考えます。
SDGs ガバナンス	サプライチェーンマネジメントから始める守りのD & I	守りのD&Iとして、サプライチェーンにおける人権リスクの洗い出しをどのように進めていくか、どう対応していくかについて学習します。
SDGs 推進能力	SDGs推進に必要な力、社会課題の解決を通じて身に付く力	先行き不透明な社会においても、常に価値を生み出せる人材へと成長することを目指して、SDGsに取り組むことで身に付く9つの力について学習します。
SDGs 取り組み事例	自動車リサイクルで循環型社会を実現	解体した自動車パーツおよび自動車リサイクルの仕組みそのものを輸出し、「あとしまつの責任」を重視している会宝産業株式会社の事例から、循環型社会への貢献と主体的な取り組みについて学びます。
SDGs 取り組み事例	アバターを使って誰もが利用できる旅行を	ロボティクスなどの最新技術を活用したビジネスで、健康と福祉、不平等をなくすなどのSDGsに取り組む avatarin株式会社の事例から、SDGsをビジネス視点から捉えるポイントを学びます。
SDGs 取り組み事例	金融を通じて地域の社会課題を解決	「三方よし」を常に意識し、金融機関として地域のSDGs取り組みを応援することでSDGsすべてのゴールに関わっている滋賀銀行の事例から、地域社会との共生、ビジネスの持続可能性について学びます。